



## 作品より、二編抜粋

---

### 風船

何かを考えて  
ふとその瞬間  
肩の力がすっと抜けた  
でも  
忘れてしまった  
何を考えていたのかを  
肝心なときに限って  
思い出せない  
覚えているのは  
左肩のあたり  
見えない針がちくりと刺して  
空気の抜ける音がした  
張り詰めていた頭の中で

### 行楽

観覧車に乗っていたんです  
私たち  
向かい合っていた人の  
後ろの窓の向こうに  
虹が  
長く 長く 尾を引いて  
螺旋をくるくる描きながら  
急激に立ち昇り  
「あッ 昇っていった」  
不意に私たちは  
斜め左の窓に目を移しました  
青いラインの入った飛行機が  
目の高さで平行に  
飛び去ってゆく  
それにからみつくように  
さきほどの虹が  
うおん うおん

どうねりながら

紅い龍のように

走り去ってゆきました